

躯体や外装もぜんぶ木材でできた高層ビルだなんて夢みたいな話だね。

木材利用を
国が推進

CLT

燃えしろ層

石膏

構造部分

火災と地震に強い木よ

土交通省／令和元年
度）によると3階建
て以下の住宅のうち
木造は82・5％。ま
だまだ低層住宅では
木造が主流です。理
田は設計の自由度が
高く建築費用を安く
抑えられること、調

火災や地震に
強い最新木材

近年CLT(直交集成板)という木の繊維の向きを直交するように何層も重ねた建材が開発され、木材でもコンクリート

湿性 断熱性にすぐれていることなどがあげられます。

しかし木造には燃えやすい、強度や耐久性が低いなどのマイナスイメージもあるのではないのでしょうか。はたしてそれは正しいのか、もしかしたら誤解かもしれません。

火災に対して、木材は燃える表面が炭化し、酸素供給を阻んで内部に燃え進みにくくなるといふ性質を生かし、あらかじめ炭化を想定した「燃えしろ層」を設ける技術が進んでいます。中心の構造部分と外側の燃えしろ層のあいだに石膏を流し込むことで、構造部分の木材を熱から守るしくみです。

木造高層ビル
が続々登場

木材の利用を促進するため国はまず公共事業から取り組み、それを民間事業にまで広げようとしています。たとえば三井ホームが東京都稲城市に建設した木造5階建て賃貸マンション「モクシオン・イナギ」や竹中工務店が東京銀座に建設した耐火木造12階建て商業ビル「HULL&

すまいる
ライフ

おしえて
仙人!



STOP!

模様替えしようよ

まずは「活かすアイテム」捨てるアイテム」「買い足すアイテム」を決めて「見取り図」を書いてみるというぞ!!

ソファーを動かしたいと思った!

背の高い家具は部屋の入り口に近くに並べ入り口に立って視線に入るところにはなるべくモノを減らすとスッキリ広々とした印象になるのでオススメです！

目の錯覚も大事だね～

なるほどね～

なるべく
ひとかたまりに
モノを置いて
あげれば
広く見えるので
ソファを中心に
レイアウトを考え
てみるのじゃ! 照明や
コンセントの位置も
しっかり考えるんじゃぞ!

★
ソファを
部屋の隅に移動
したいんだけど...
どこかしら?

「捨てるアイテムと収納場所をもう一度考え直すんじゃない！」

ソファの周りにもあれもこれも...
見取り図に書ききれないよ

「買い足すアイテム」は思いついても「捨てるアイテム」が決められない...

**トコロ
変われば**

スパイトハウス
(悪意のある家)とは

土地開発に対抗して
わざとそこに豪邸を建てた

約3メートルの家はある男が赴任先から戻ったところ兄弟井有名義の土地に大きな家が建っていたことに腹を立て、残りの土地に自分の家を建てたというもののおかげで兄弟の家は

壁一面の窓と裏庭への通路を壁完全にふさがれています。

またレバノンにはまるで4階建ての壁だけの様な薄っぺらい建物を建てた人がいます。これも兄弟の家の前にわざと

建てたもので、海の景色を遮るためのいやがらせなのだとか。

一方隣人とのめめ事では、馬車や人の通行がうるさいからと路地に家を建てた人や、2軒のあいだの土地を隣人が安い

値段で譲ってくれと
いったことに腹を立
て、そこに無理やり
幅約1・5メートル
の家を建てた人、家
の建て替えを近所
の人に反対され、ま
ちの景観を重視する
口
ンドンで壁を赤と白

のストライプに塗ってしまった女性など。そしてマサチューセッツ州の「ブラムアイランド・ピンクハウス」は夫婦間のこじれから、離婚協議でいまと同じ家をもう一軒建てなければならないとされた夫が、場所は指定されなかったからと海に近い湿地に建ててしまったというもの。いずれもあきれてしましますが現在はいくつかの観光名所になったところも多いようです。

タッチレス水栓



こんなに進化！
.....
今どきの
設備機器
.....
こんなに便利！

センサーに手をかざすだけで吐水・止水ができるタッチレス水栓は、衛生意識の高まりから注目を集めています。水栓にふれずに水を出したり止めたりできれば小さな子どもや力の弱い高齢者にも便利。また掃除がしやすい、出しっぱなしがなくなり節水効果が高いというメリットもあります。

古いタイプでは「水量や温度を調節できない」というデメリット

リットがありましたが、いまはこれらもタッチレスで調節可能。センサーの感度も向上しキッチンでもストレスなく使える機能に進化しています。使うたびに台座まわりにも水がたまることもなくなるのできれいな方にはとくにオススメです。センサーの反応速度など、機種による特徴があるので、できればショールームで実際に操作してみることがおすすめです。

片づけるのが
「めんどくさい」つくりの
家だから片づかないのか。



◆生き活ってなに？

この10年ほどで広まった「終活」というワード。人生の終わりに至るべくして事前に準備をすることで、そのひとつに家の片づけがありまゝす。残された家族に迷惑がかからないよう不要なモノを処分して身軽にしておこうという活動です。

そして最近では終活にはまだ早い50〜60代に向けて「生き活」という言葉が出てきました。まだまだ元気だけれど、若い頃とは家族構成やライフスタイルが変わり、今後老年層に向かうことを考えるなくてはならない世代だからこそ、これ

からを「ラクに生きるための活動」Ⅱ「生き活」が注目されているのです。

生き活での片づけで大切なのは、ただモノを減らすではなく生活しやすいよう「改善」すること。まずは、いまあるものや当たり前にしているふだんの生活を疑ってみることからはじめましょう。

たとえば日常の動作で移動のムダはないか、もっと使いやすい収納場所はないか、コレとコレは同じ場所にあったほうが便利ではないか、など。ゴミ袋にして

も買ってきた束のままだと毎回一枚ずつ取り出すのが面倒ですが、厚紙を芯にしてゴミ袋をひつ掛けて書類ケースに並べておいたり、バーを設置してタオルのように掛けておくだけで必要なときにサッと取れて楽ちんです。

